



平成28年4月11日

各 位

会 社 名 株式会社フジ
代表者名 代表取締役社長 尾崎 英雄
(コード番号 8278 東証第一部)
問合せ先 専務取締役専務執行役員
経営企画担当 佐伯 雅則
(電話番号 089-922-8112)

(訂正)「平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成26年10月6日に開示いたしました「平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 訂正の理由及び経緯

訂正の理由及び経緯につきましては、平成28年4月11日付「過年度決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上



(訂正後)

平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月6日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フ ジ
 コード番号 8278 URL <http://www.the-fuji.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)尾崎 英雄
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 企画・開発本部長 (氏名)佐伯 雅則 (TEL) (089)922-8112
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月10日 配当支払開始予定日 平成26年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績 (平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	156,097	△0.2	2,120	△8.8	2,551	△5.8	1,511	26.1
26年2月期第2四半期	156,535	△0.3	2,325	△6.3	2,711	1.5	1,197	13.1

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 2,856 百万円 (24.8%) 26年2月期第2四半期 2,287 百万円 (196.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	42.84	—
26年2月期第2四半期	33.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	161,959	62,314	38.3
26年2月期	156,292	59,088	37.8

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 62,190 百万円 26年2月期 59,088 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	7.50	—	7.50	15.00
27年2月期	—	7.50	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想 (平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	313,000	△0.0	6,000	25.7	6,500	19.5	3,400	44.7	96.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年2月期2Q	35,300,560株	26年2月期	35,300,560株
② 期末自己株式数	20,812株	26年2月期	20,273株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	35,279,993株	26年2月期2Q	35,280,746株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日本銀行による金融政策により、緩やかな景気の回復基調が続いているものの、一部に弱さもみられました。小売業界におきましては、4月に実施された消費税引き上げに伴う駆け込み需要はあったものの、以降はその反動減に加え、消費者の更なる節約志向の強まりや今夏の天候不順の影響など、依然として厳しい状況が続きました。

このような環境のなかで、当社グループ(当社及び連結子会社)は、経営ビジョン「中四国くらし密着ドミナント(※)」のもと、地域の豊かなくらしづくりと地域社会の発展に貢献できる企業集団を目指し、各社の有する経営資源を最大限に活用し、地域のお客様のくらしに密着した店舗及び事業の構築を推進しています。(※ドミナント・・・一定の地域において、占有率を高め同業他社と比較して優位性を確保する戦略)

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は1,560億97百万円(前年同期比0.2%減)となりました。営業利益は21億20百万円(前年同期比8.8%減)、経常利益は25億51百万円(前年同期比5.8%減)、四半期純利益は15億11百万円(前年同期比26.1%増)となりました。

(連結業績)

(単位：百万円)

	平成26年2月期第2四半期		平成27年2月期第2四半期	
		前年同期比		前年同期比
営業収益	156,535	0.3%減	156,097	0.2%減
営業利益	2,325	6.3%減	2,120	8.8%減
経常利益	2,711	1.5%増	2,551	5.8%減
四半期純利益	1,197	13.1%増	1,511	26.1%増

セグメント別の状況は、次のとおりです。

【小売事業】

総合小売業では、平成26年度の経営方針を『お客様満足の実現』とし、「うれしい」があふれる明るく元気な店舗・売場づくり、経営基盤強化に向けたコスト構造の改革、新しい市場機会の開拓を推し進めています。

店舗では、「エミフルMASAKI」(愛媛県伊予郡松前町)において、3月から7月にかけて全体の8割にあたる約160店のテナントをリニューアルする大規模な改装を行いました。さらに、「フジグラン北島」(徳島県板野郡北島町)においても大型テナントを導入するなど収益力向上に向けて改装を行いました。また、4月にマルシェ事業の2号店として海産物を主体とする「瀬戸内海響市場エフ・マルシェ」(愛媛県松山市)を出店しました。

前連結会計年度よりFC展開を進めている、ファッション専門店「SHOO・LA・RUE(シューラルー)」を、4月にフジグラン北宇和島に新設しました。

お客様の多様化するライフスタイルに対応するため、ネットスーパー「おまかせくん」においては、配達エリアを拡大するとともにサービスの拡充を図っています。

また、当社は、7月に株式会社エービーシー及び株式会社スーパーゼットと事業譲渡基本合意契約を締結し、譲受会社として株式会社フジmart四国(完全子会社)を設立しました。これにより、両社が運営する5店舗を譲り受け、9月1日より事業を開始しました。

これらの結果、小売事業の営業収益は1,532億78百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

【小売周辺事業】

総合フィットネスクラブ事業では、株式会社フジ・スポーツ&フィットネスが、当社より事業を承継し、3月より事業を開始しています。地域のお客さまに圧倒的に支持され続けるビジネスモデルの構築に取り組んでいます。なお、3月に「フィッタNAVI北斎院店」(愛媛県松山市)を新設しました。

また、青果卸売業を営む株式会社フジ・アグリフーズを当連結会計年度より連結の範囲に含めています。

これらの結果、小売周辺事業の営業収益は156億36百万円(前年同期比40.9%増)となりました。

【その他】

不動産賃貸業では、引き続き厳しい経営環境で推移しました。また、総合ビルメンテナンス業を営む株式会社フジセキュリティを当連結会計年度より連結の範囲に含めています。

これらの結果、その他事業の営業収益は48億62百万円(前年同期比252.9%増)となりました。

(注) セグメント別の営業収益には、売上高及び営業収入を含め、セグメント間の取引も含めています。
また、記載金額には、消費税等を含めていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、現金及び預金が31億18百万円、有形固定資産が15億40百万円増加したことなどにより1,619億59百万円となり、前連結会計年度末と比較し56億67百万円増加しました。

負債の残高は、支払手形及び買掛金が47億66百万円、短期借入金が13億13百万円増加し、一方で、長期借入金が49億34百万円減少したことなどにより996億44百万円となり、前連結会計年度末と比較し24億41百万円増加しました。

純資産の残高は、623億14百万円となり、前連結会計年度末と比較し32億26百万円増加しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」につきましては、税金等調整前四半期純利益24億63百万円に含まれる非資金損益項目の減価償却費27億51百万円、減損損失11億52百万円等の調整と、増加要因として、仕入債務の増加額46億23百万円等があり、107億19百万円の収入(前年同期は105億61百万円の収入)となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」につきましては、有形及び無形固定資産の取得(設備関係支払手形決済等を含む)による支出が60億99百万円、その他の投資に係る収入が21億24百万円あったことなどにより39億89百万円の支出(前年同期は28億54百万円の支出)となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」につきましては、長期借入金の返済による支出44億82百万円等があり、39億69百万円の支出(前年同期は64億99百万円の支出)となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は83億40百万円となり、期首から31億17百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期以降も、個人消費については引き続き厳しい経営環境で推移するものと予測されます。このような状況のなか、経営方針『お客様満足の実現』のもと、「うれしい」があふれる明るく元気な店舗・売場づくり、経営基盤強化に向けたコスト構造の改革、新しい市場機会の開拓に取り組みます。

店舗では、平成27年1月から「フジ三島店」(愛媛県四国中央市)を一時休業し、建替え新設します。また、「フジグランナタリー」(広島県廿日市市)の改装など、引き続き既存店舗の活性化を図ります。

また、前述のとおり、株式会社エービーシー及び株式会社スーパーゼットから株式会社フジマート四国が5店舗を譲り受けて、9月1日より事業を開始していますが、本件による通期の連結業績に与える影響は軽微です。

以上により、通期連結業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績及び今後の見通しを踏まえ、本日付で発表したとおり、営業収益3,130億円(対前期比0.0%減)、営業利益60億円(対前期比25.7%増)、経常利益65億円(対前期比19.5%増)、当期純利益34億円(対前期比44.7%増)を計画いたします。

(連結業績の見通し)

(単位：百万円)

	平成27年2月期	
		前年同期比
営業収益	313,000	0.0%減
営業利益	6,000	25.7%増
経常利益	6,500	19.5%増
当期純利益	3,400	44.7%増

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(子会社の設立)

当社は、次のとおり新会社を設立しました。

1. 目的

株式会社エービーシー及び株式会社スーパーゼットが運営する 5 店舗の譲受会社として、当社全額出資による新会社を設立しました。なお、9 月 1 日より新会社にて事業を開始しています。

2. 設立した会社の概要

(1) 商号：株式会社フジマート四国

(2) 事業内容：スーパーマーケット事業

(3) 設立年月日：平成26年7月14日

(4) 本社所在地：愛媛県松山市宮西一丁目2番1号

(5) 代表者の役職氏名：代表取締役社長 永井 信章

(6) 資本金：50百万円

(7) 決算期：2月

(8) 株主構成及び持分比率：当社 100%

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年 2 月28日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成26年 8 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,222	8,340
売掛金	1,451	1,827
営業貸付金	1,521	1,253
商品	11,164	10,842
その他	2,654	4,746
貸倒引当金	△355	△310
流動資産合計	21,658	26,700
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	51,216	51,169
土地	32,197	33,551
その他（純額）	5,941	6,174
有形固定資産合計	89,354	90,895
無形固定資産	6,248	6,037
投資その他の資産		
差入保証金	12,841	11,493
建設協力金	7,463	6,665
その他	18,726	20,168
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	39,030	38,326
固定資産合計	134,633	135,259
資産合計	156,292	161,959

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,762	22,528
短期借入金	15,344	16,657
未払法人税等	1,214	792
賞与引当金	858	1,109
商品券回収損引当金	123	133
その他	11,848	12,534
流動負債合計	47,151	53,755
固定負債		
長期借入金	31,168	26,233
退職給付引当金	1,438	1,463
役員退職慰労引当金	302	314
利息返還損失引当金	685	552
長期預り保証金	11,629	11,372
資産除去債務	2,818	2,856
その他	2,010	3,096
固定負債合計	50,052	45,889
負債合計	97,203	99,644
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,921	15,921
資本剰余金	16,257	16,257
利益剰余金	23,758	25,520
自己株式	△36	△37
株主資本合計	55,901	57,662
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,193	4,534
繰延ヘッジ損益	△6	△5
その他の包括利益累計額合計	3,187	4,528
少数株主持分	-	124
純資産合計	59,088	62,314
負債純資産合計	156,292	161,959

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年 8 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 3 月 1 日 至 平成26年 8 月31日)
売上高	147,062	146,892
売上原価	113,631	113,403
売上総利益	33,431	33,488
営業収入		
不動産賃貸収入	3,123	3,023
その他の営業収入	6,349	6,181
営業収入合計	9,472	9,205
営業総利益	42,903	42,694
販売費及び一般管理費	40,578	40,573
営業利益	2,325	2,120
営業外収益		
受取利息	106	91
受取配当金	110	241
持分法による投資利益	180	196
未請求ポイント券受入額	148	30
その他	305	274
営業外収益合計	851	834
営業外費用		
支払利息	387	314
商品券回収損引当金繰入額	38	45
その他	39	43
営業外費用合計	465	403
経常利益	2,711	2,551
特別利益		
固定資産売却益	-	10
投資有価証券売却益	23	1,246
特別利益合計	23	1,257
特別損失		
固定資産除売却損	30	158
リース解約損	2	-
減損損失	669	1,152
建設協力金解約及び変更損	3	33
店舗解約損失	16	0
特別損失合計	722	1,345
税金等調整前四半期純利益	2,012	2,463
法人税等	814	939
少数株主損益調整前四半期純利益	1,197	1,523
少数株主利益	-	12
四半期純利益	1,197	1,511

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,197	1,523
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,094	1,339
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△6
その他の包括利益合計	1,090	1,333
四半期包括利益	2,287	2,856
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,287	2,844
少数株主に係る四半期包括利益	-	12

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,012	2,463
減価償却費	2,576	2,751
減損損失	669	1,152
のれん償却額	12	26
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△39	△47
その他の引当金の増減額(△は減少)	89	100
受取利息及び受取配当金	△216	△333
支払利息	387	314
持分法による投資損益(△は益)	△180	△196
固定資産除売却損益(△は益)	30	147
投資有価証券売却損益(△は益)	△23	△1,246
店舗解約損失	16	0
売上債権の増減額(△は増加)	△63	△347
たな卸資産の増減額(△は増加)	391	377
仕入債務の増減額(△は減少)	3,863	4,623
その他	1,959	2,107
小計	11,484	11,896
利息及び配当金の受取額	169	292
利息の支払額	△318	△269
店舗解約に伴う違約金の支払額	△16	△0
法人税等の支払額	△757	△1,198
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,561	10,719
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1	△2
投資有価証券の売却及び償還による収入	159	34
貸付けによる支出	△6	△68
貸付金の回収による収入	41	86
長期前払費用に係る支出	△14	△45
その他の投資に係る支出	△147	△65
その他の投資に係る収入	532	2,124
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,419	△6,099
有形固定資産の売却による収入	-	46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,854	△3,989
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,518	850
長期借入れによる収入	300	-
長期借入金の返済による支出	△4,966	△4,482
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△264	△264
その他	△49	△71
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,499	△3,969
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,207	2,760
現金及び現金同等物の期首残高	5,411	5,222
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	-	356
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,618	8,340

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。



(訂正前)

平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月6日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フジ
 コード番号 8278 URL <http://www.the-fuji.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)尾崎 英雄
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 企画・開発本部長 (氏名)佐伯 雅則 (TEL) (089)922-8112
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月10日 配当支払開始予定日 平成26年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績 (平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	155,324	△0.2	2,124	△6.8	2,564	△4.3	1,534	30.5
26年2月期第2四半期	155,724	△0.3	2,280	△6.2	2,679	1.8	1,175	13.8

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 2,870 百万円 (27.0%) 26年2月期第2四半期 2,258 百万円 (203.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	43 50	—
26年2月期第2四半期	33 31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	161,023	64,195	39.7
26年2月期	155,585	60,956	39.1

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 64,071 百万円 26年2月期 60,956 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	7 50	—	7 50	15 00
27年2月期	—	7 50	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	7 50	15 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想 (平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	313,000	0.4	6,000	26.7	6,500	20.1	3,400	44.7	96 37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年2月期2Q	35,300,560株	26年2月期	35,300,560株
② 期末自己株式数	20,812株	26年2月期	20,273株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	35,279,993株	26年2月期2Q	35,280,746株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日本銀行による金融政策により、緩やかな景気の回復基調が続いているものの、一部に弱さもみられました。小売業界におきましては、4月に実施された消費税率引き上げに伴う駆け込み需要はあったものの、以降はその反動減に加え、消費者の更なる節約志向の強まりや今夏の天候不順の影響など、依然として厳しい状況が続きました。

このような環境のなかで、当社グループ(当社及び連結子会社)は、経営ビジョン「中四国くらし密着ドミナント(※)」のもと、地域の豊かなくらしづくりと地域社会の発展に貢献できる企業集団を目指し、各社の有する経営資源を最大限に活用し、地域のお客様のくらしに密着した店舗及び事業の構築を推進しています。(※ドミナント・・・一定の地域において、占有率を高め同業他社と比較して優位性を確保する戦略)

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は1,553億24百万円(前年同期比0.2%減)となりました。営業利益は21億24百万円(前年同期比6.8%減)、経常利益は25億64百万円(前年同期比4.3%減)、四半期純利益は15億34百万円(前年同期比30.5%増)となりました。

(連結業績)

(単位：百万円)

	平成26年2月期第2四半期		平成27年2月期第2四半期	
		前年同期比		前年同期比
営業収益	155,724	0.3%減	155,324	0.2%減
営業利益	2,280	6.2%減	2,124	6.8%減
経常利益	2,679	1.8%増	2,564	4.3%減
四半期純利益	1,175	13.8%増	1,534	30.5%増

セグメント別の状況は、次のとおりです。

【小売事業】

総合小売業では、平成26年度の経営方針を『お客様満足の実現』とし、「うれしい」があふれる明るく元気な店舗・売場づくり、経営基盤強化に向けたコスト構造の改革、新しい市場機会の開拓を推し進めています。

店舗では、「エミフルMASAKI」(愛媛県伊予郡松前町)において、3月から7月にかけて全体の8割にあたる約160店のテナントをリニューアルする大規模な改装を行いました。さらに、「フジグラン北島」(徳島県板野郡北島町)においても大型テナントを導入するなど収益力向上に向けて改装を行いました。また、4月にマルシェ事業の2号店として海産物を主体とする「瀬戸内海響市場エフ・マルシェ」(愛媛県松山市)を出店しました。

前連結会計年度よりFC展開を進めている、ファッション専門店「SHOO・LA・RUE(シューラルー)」を、4月にフジグラン北宇和島に新設しました。

お客様の多様化するライフスタイルに対応するため、ネットスーパー「おまかせくん」においては、配達エリアを拡大するとともにサービスの拡充を図っています。

また、当社は、7月に株式会社エービーシー及び株式会社スーパーゼットと事業譲渡基本合意契約を締結し、譲受会社として株式会社フジmart四国(完全子会社)を設立しました。これにより、両社が運営する5店舗を譲り受け、9月1日より事業を開始しました。

これらの結果、小売事業の営業収益は1,532億78百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

【小売周辺事業】

総合フィットネスクラブ事業では、株式会社フジ・スポーツ&フィットネスが、当社より事業を承継し、3月より事業を開始しています。地域のお客さまに圧倒的に支持され続けるビジネスモデルの構築に取り組んでいます。なお、3月に「フィッタNAVI北斎院店」(愛媛県松山市)を新設しました。

また、青果卸売業を営む株式会社フジ・アグリフーズを当連結会計年度より連結の範囲に含めています。

これらの結果、小売周辺事業の営業収益は156億36百万円(前年同期比40.9%増)となりました。

【その他】

不動産賃貸業では、引き続き厳しい経営環境で推移しました。また、総合ビルメンテナンス業を営む株式会社フジセキュリティを当連結会計年度より連結の範囲に含めています。

これらの結果、その他事業の営業収益は40億14百万円(前年同期比718.5%増)となりました。

(注) セグメント別の営業収益には、売上高及び営業収入を含め、セグメント間の取引も含めています。
また、記載金額には、消費税等を含めていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、現金及び預金が29億76百万円、有形固定資産が15億40百万円増加したことなどにより1,610億23百万円となり、前連結会計年度末と比較し54億38百万円増加しました。

負債の残高は、支払手形及び買掛金が43億76百万円、短期借入金が15億55百万円増加し、一方で、長期借入金が49億34百万円減少したことなどにより968億28百万円となり、前連結会計年度末と比較し21億98百万円増加しました。

純資産の残高は、641億95百万円となり、前連結会計年度末と比較し32億39百万円増加しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」につきましては、税金等調整前四半期純利益24億83百万円に含まれる非資金損益項目の減価償却費27億51百万円、減損損失11億44百万円等の調整と、増加要因として、仕入債務の増加額42億34百万円等があり、103億15百万円の収入(前年同期は101億21百万円の収入)となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」につきましては、有形及び無形固定資産の取得(設備関係支払手形決済等を含む)による支出が60億98百万円、その他の投資に係る収入が21億24百万円あったことなどにより39億88百万円の支出(前年同期は28億55百万円の支出)となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」につきましては、長期借入金の返済による支出44億82百万円等があり、37億8百万円の支出(前年同期は61億11百万円の支出)となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は80億95百万円となり、期首から29億76百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期以降も、個人消費については引き続き厳しい経営環境で推移するものと予測されます。このような状況のなか、経営方針『お客様満足の実現』のもと、「うれしい」があふれる明るく元気な店舗・売場づくり、経営基盤強化に向けたコスト構造の改革、新しい市場機会の開拓に取り組みます。

店舗では、平成27年1月から「フジ三島店」(愛媛県四国中央市)を一時休業し、建替え新設します。また、「フジグランナタリー」(広島県廿日市市)の改装など、引き続き既存店舗の活性化を図ります。

また、前述のとおり、株式会社エービーシー及び株式会社スーパーゼットから株式会社フジマート四国が5店舗を譲り受けて、9月1日より事業を開始していますが、本件による通期の連結業績に与える影響は軽微です。

以上により、通期連結業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績及び今後の見通しを踏まえ、本日付で発表したとおり、営業収益3,130億円(対前期比0.4%増)、営業利益60億円(対前期比26.7%増)、経常利益65億円(対前期比20.1%増)、当期純利益34億円(対前期比44.7%増)を計画いたします。

(連結業績の見通し)

(単位：百万円)

	平成27年2月期	
		前年同期比
営業収益	313,000	0.4%増
営業利益	6,000	26.7%増
経常利益	6,500	20.1%増
当期純利益	3,400	44.7%増

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(子会社の設立)

当社は、次のとおり新会社を設立しました。

1. 目的

株式会社エービーシー及び株式会社スーパーゼットが運営する 5 店舗の譲受会社として、当社全額出資による新会社を設立しました。なお、9 月 1 日より新会社にて事業を開始しています。

2. 設立した会社の概要

(1) 商号：株式会社フジマート四国

(2) 事業内容：スーパーマーケット事業

(3) 設立年月日：平成26年7月14日

(4) 本社所在地：愛媛県松山市宮西一丁目2番1号

(5) 代表者の役職氏名：代表取締役社長 永井 信章

(6) 資本金：50百万円

(7) 決算期：2月

(8) 株主構成及び持分比率：当社 100%

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年 2 月28日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成26年 8 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,119	8,095
売掛金	1,201	1,566
営業貸付金	1,521	1,253
商品	11,164	10,842
その他	2,188	4,229
貸倒引当金	△270	△226
流動資産合計	20,924	25,761
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	51,216	51,169
土地	32,197	33,551
その他（純額）	5,941	6,174
有形固定資産合計	89,354	90,895
無形固定資産	6,240	6,029
投資その他の資産		
差入保証金	12,701	11,353
建設協力金	7,463	6,665
その他	18,902	20,319
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	39,066	38,336
固定資産合計	134,661	135,262
資産合計	155,585	161,023

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,258	21,635
短期借入金	14,294	15,850
未払法人税等	1,203	787
賞与引当金	830	1,062
商品券回収損引当金	123	133
その他	10,988	11,585
流動負債合計	44,700	51,054
固定負債		
長期借入金	31,168	26,233
退職給付引当金	1,406	1,430
役員退職慰労引当金	280	294
利息返還損失引当金	685	552
長期預り保証金	11,626	11,370
資産除去債務	2,818	2,856
その他	1,943	3,035
固定負債合計	49,929	45,773
負債合計	94,629	96,828
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,921	15,921
資本剰余金	16,257	16,257
利益剰余金	25,637	27,423
自己株式	△36	△37
株主資本合計	57,779	59,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,182	4,513
繰延ヘッジ損益	△6	△5
その他の包括利益累計額合計	3,176	4,507
少数株主持分	-	124
純資産合計	60,956	64,195
負債純資産合計	155,585	161,023

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年 8 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 3 月 1 日 至 平成26年 8 月31日)
売上高	147,062	146,892
売上原価	113,631	113,403
売上総利益	33,431	33,488
営業収入		
不動産賃貸収入	3,187	3,087
その他の営業収入	5,474	5,343
営業収入合計	8,661	8,431
営業総利益	42,093	41,920
販売費及び一般管理費	39,812	39,796
営業利益	2,280	2,124
営業外収益		
受取利息	106	91
受取配当金	109	240
持分法による投資利益	180	196
未請求ポイント券受入額	148	30
その他	304	271
営業外収益合計	849	831
営業外費用		
支払利息	376	304
商品券回収損引当金繰入額	38	45
その他	35	41
営業外費用合計	450	391
経常利益	2,679	2,564
特別利益		
固定資産売却益	-	10
投資有価証券売却益	23	1,246
特別利益合計	23	1,257
特別損失		
固定資産除売却損	30	158
リース解約損	2	-
減損損失	663	1,144
建設協力金解約及び変更損	3	33
店舗解約損失	16	0
特別損失合計	716	1,337
税金等調整前四半期純利益	1,986	2,483
法人税等	811	936
少数株主損益調整前四半期純利益	1,175	1,547
少数株主利益	-	12
四半期純利益	1,175	1,534

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,175	1,547
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,087	1,329
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△6
その他の包括利益合計	1,082	1,322
四半期包括利益	2,258	2,870
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,258	2,858
少数株主に係る四半期包括利益	-	12

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年 8 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 3 月 1 日 至 平成26年 8 月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,986	2,483
減価償却費	2,576	2,751
減損損失	663	1,144
のれん償却額	12	26
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△39	△47
その他の引当金の増減額 (△は減少)	69	82
受取利息及び受取配当金	△216	△332
支払利息	376	304
持分法による投資損益 (△は益)	△180	△196
固定資産除売却損益 (△は益)	30	147
投資有価証券売却損益 (△は益)	△23	△1,246
店舗解約損失	16	0
売上債権の増減額 (△は増加)	1	△336
たな卸資産の増減額 (△は増加)	391	377
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,494	4,234
その他	1,868	2,078
小計	11,027	11,473
利息及び配当金の受取額	168	291
利息の支払額	△307	△259
店舗解約に伴う違約金の支払額	△16	△0
法人税等の支払額	△750	△1,189
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,121	10,315
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1	△2
投資有価証券の売却及び償還による収入	159	34
貸付けによる支出	△6	△68
貸付金の回収による収入	41	86
長期前払費用に係る支出	△14	△45
その他の投資に係る支出	△147	△64
その他の投資に係る収入	530	2,124
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,418	△6,098
有形固定資産の売却による収入	-	46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,855	△3,988
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,149	1,093
長期借入れによる収入	300	-
長期借入金の返済による支出	△4,966	△4,482
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△264	△264
その他	△31	△52
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,111	△3,708
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,154	2,619
現金及び現金同等物の期首残高	5,301	5,119
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	-	356
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,456	8,095

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。